

7. 今後のスケジュール

今後の整備推進に向けた取組としては、この「塩浜 3 丁目周辺地区土地利用計画」（以下、「本計画」）を踏まえ、川崎市総合計画「第2期実行計画」の策定に合わせた検討・調整を進め、当面整備すべき内容についての具体的な取組を進めていきます。

事業推進にあたっては、今後の塩浜 3 丁目周辺地区および川崎臨海部全体の動向を適切に把握するとともに、引続き市民の方々のご意見を伺いながら進めていきます。

主な市有財産の有効活用および地区の価値を高める基盤整備に向けたスケジュールは、以下のとおり概ね 10 年間の予定です。

なお、川崎臨海部においては今後も産業構造転換への対応や人・モノの流れが変化することが考えられ、塩浜 3 丁目周辺地区においても、本計画で想定していない土地利用の転換が発生する可能性もあります。このような場合においても、地区に求められる機能等については、本計画の考え方を基本とし、地区全体としての価値向上および臨海部の活性化に資する地区形成に向けて取り組んでいきます。

また、地区に求められる機能のうち『交通のレスト機能』および『臨空・臨海都市拠点等の支援補完機能』については、今後も地区全体での導入検討を継続するとともに、導入にあたっての課題に加え実現性も踏まえながら、その位置づけを本計画に増補していきます。

		H29 (2017)	H30 (2018)	H31 ~ H39 (2019 ~ 2027)
市有財産の有効活用	① 塩浜中公園 → 入江崎クリーンセンター	敷地整備 計画 ・ 設計 ・ 建築		
	② 入江崎クリーンセンター → 公園	設計・除却工事 → 一体整備 → 憩い・交流機能導入		
	③ 旧汚泥焼却施設 → 隣接公園用地との一体利用 (水処理施設更新用地)	計画 ・ 設計 ・ 除却工事 → 一体整備 → 憩い・交流機能導入		
地区の価値を高める基盤整備	土地利用を支える基幹的的道路	計画 ・ 設計 ・ 工事 (段階整備)		
	緑の拠点 緑のネットワーク	計画 ・ 設計 ・ 工事 (段階整備) → 緑のアメニティ機能導入 (段階的導入)		
	水辺の拠点	設計 ・ 工事 → 緑のアメニティ機能導入 (段階的導入)		
④交通の拠点機能整備 (バス事業者所有地)		● 交通の拠点機能導入 (臨海部のバス需要に応じ、段階的に輸送力を強化) バス拠点施設移動		

